

検 定 表 <平成28年2月版>

テーブル拭き

検定日： 年 月 日 () 特別支援学校・学園 (高等部・中学部) 年 氏名

No	☆	検定の観点	評価
①		資機材準備<白タオル1枚、バケツ1個、黄タオル1枚>	
②	☆	水を入れる前にタオルを畳む<横長に構える、正しい畳み方、八つ折にする、空中で畳む、端がそろっている、黄タオルは床に着けない>	
③		バケツに水を入れる<水を入れる前に・テーブルの左側に・養生の白タオルを敷く、水の量は3分の1程度>	
④	☆	しぼる<四つ折~八つ折~16折にして、バットと同じ握り方、先端を下に向ける、腕を伸ばしながら内側に絞る、しっかりと絞れている、立つ前に手を拭く>	
⑤		タオル絞りの姿勢<片膝を着く、膝を着けた脚はつま先を立て・床にべたっとすねを着けない>	
⑥		持つ<バラバラの方を親指で挟む、指を伸ばす、手をタオルの中心に置く、タオルが真っすぐ向いている、手のひらを浮かさない>	
⑦		縁を拭く<自分から遠い所から・一周する、隅を拭き残さない、辺を拭き残さない、刃を拭き残さない、力を入れて拭く>	
⑧		中央を拭く<自分から遠い所から、横・縦・横・縦の順で、真っすぐに拭く、拭き跡が重なるように、力を入れて拭く>	
⑨		ひっくり返す<タオルの手前又は奥側を持って・縦にひっくり返す、バラバラの方が親指側にくる>	
⑩		効率の良い拭き方<正しい作業動線で行う、同じ所を何度も拭かない、手をついた所は拭き取る(テーブル上面に手を付かない)>	

タイム

級

自在ぼうき

検定日： 年 月 日 ()

特別支援学校・学園

(高等部・中学部)

年 氏名

No	☆	検定の観点	評価
①	☆	資機材準備・片付け<作業表示板は最初に出して最後に片付ける、フロア用の自在ぼうき、ちりとりは裏返しに置く、終わったら元の位置に戻す>	
②	☆	持ち方<ハンドルの高さをあごの下の高さに調整、左手が上・右手が下、ハンドルの先端を左手親指で押さえる、右手は順手で持つ、ほうきの向きを確認する>	
③		出入口<自分の足が入る前に、横に3～4回掃き、歩くスペースを確保する、押し掃きにならない>	
④		おさえばき①<(L字ばき①) 自分のかかとのやや後方から始める・45度を維持する・ラインから離れない>	
⑤		おさえばき②<(L字ばき②) つま先の前までほうきを出す、頂点で押さえをゆるめない、頂点から真横に掃く>	
⑥		おさえばき③<自在ぼうきを床に押し付けるようにして掃く、はき終わりで毛先を振り上げない、押し掃きにならない>	
⑦		おさえばき④<掃いた後は必ず床にトントンと自在ぼうきをたたきつけ、毛先についたホコリを落とす、ゴミの上でトントンしない>	
⑧		後方から前方へ掃く<ほうきの向き変え、持ち替え、おさえばき、押し掃きにならない、トントンをする>	
⑨		ゴミの処理<正しい構えでほうきとちりとりを持つ、ちりとりの中にほうきの先半分を入れる、ほうきの向き・持ち方を間違えない、トントンをする>	
⑩		仕上がりが良い<正しい作業動線で行う、隙間なく掃く、ゴミの上を歩かない、隅までしっかり掃く、ゴミの取り残しがない>	

タイム

級

モップ

検定日： 年 月 日 () 特別支援学校・学園 (高等部・中学部) 年 氏名

No	☆	検定の観点	評価
①		資機材準備・片付け<作業表示板は最初に出して最後に片付ける、白いラグ、ハンドル、終わったら元の位置に戻す>	
②	☆	ハンドルのセット<ハンドルを肩にかつく、ピンチを逆手で持ち自力で開く、ジョイント部に真っすぐはめる、目の高さで調節、しっかり固定する>	
③	☆	ラグを絞る<スクイーズーカリンガーで・横木やハンドルを挟まない・自力でラグをしっかり挟む、ラジエット(ペダル)を動かして絞る>	
④		持ち方<右手が上・親指でハンドルの先端を押さえる、左手は順手でハンドルを握る、壁際は右手が肩の前、中央は体の前で横に構える>	
⑤		部屋の隅<右膝を着く、左肩にハンドルをかつぐ、ラグの右端・指を伸ばして押さえ指を先行させる、壁に触れない、ハンドルを壁に当てない、拭いた後を踏まない>	
⑥		壁際<幅木にラグを着けない、ラグは横木の後ろ、押し拭き、真っすぐ進む、壁から離れすぎない、拭いた後を踏まない>	
⑦		机の脚まわり<左膝を着く、右肩にハンドルをかつぐ、ラグを左手で持つ、机の脚にラグが触れない、ハンドルを壁や机に当てない、拭いた後を踏まない>	
⑧		机の下<持ち方を変える、机の右側・中・左側・手前の順に拭く、机の脚にラグが触れない、ハンドルを机に当てない、拭いた後を踏まない>	
⑨		広いところ<小さくバックしながら拭く、ラグは長く使う、横木を浮かさない、真横にラグを動かす、壁や机にラグを当てない、拭いた後を踏まない>	
⑩		仕上がり<正しい作業動線で行う、向きを変えるごとにラグをひっくり返す、拭き跡は少し重ねる、出入口はラグを手で持ち安全に拭く>	
		タイム	級

ダスタークロス

検定日： 年 月 日 () (高等部・中学部) 年 氏名

No	☆	検定の観点	評価
①		資機材準備・片付け<作業表示板は最初に出して最後に片付ける、ハンドル・ホルダー・クロス・フロア用自在ぼうき・文化ちりとり・ゴミ箱、終わったら元の位置に戻す>	
②	☆	クロス の セット<クロス の 中央 に 置く、ピンチ を 開く、クロス を はさむ、ピンチ を 閉じる、4か所 と も と まっている>	
③	☆	ハンドル の セット<ハンドル を 肩 に か つ ぐ、ピンチ を 逆 手 で 持 ち 自 力 で 開 く 、ジョイント部 に 真 っ す ぐ は め る、目 の 高 さ で 調 節 し 、し っ か り 固 定 す る >	
④		構え<ホルダー を 幅 広 の方 を 前 に 向 け て、利 き 手 が 上 ・ 親 指 で ハ ン ド ル の 先 端 を 押 さ え る、反 列 の 手 は 順 手 で ハ ン ド ル を 握 る、壁 際 は 右 手 が 肩 の 前 、 振 る 時 は や や 外 側 >	
⑤		入口 ・ 壁 際 <入口 の 左 端 から 弧 を 描 く、壁 に ホ ル ダ ー を 当 て な い、ク ロ ス を 浮 か さ な い、バ ッ ク し な い 、拭 い た 後 を 歩 く >	
⑥		部屋 の 隅<幅 木 に ホ ル ダ ー を 当 て な い 、角 が 近 付 い た ら ホ ル ダ ー を 45度 に し ・ ぎ り ぎ り ま で 進 む 、ク ロ ス を 浮 か さ な い、バ ッ ク し な い 、拭 い た 後 を 歩 く >	
⑦		机 の 周 圍 <机 の 脚 に ホ ル ダ ー を 当 て な い、机 に ハ ン ド ル を 当 て な い、ク ロ ス を 浮 か さ な い、バ ッ ク し な い 、拭 い た 後 を 歩 く >	
⑧		中央 の 拭 き 方<ス ネ イ ク の 動 作 を 行 う 、ハ ン ド ル の 付 け 近 付 近 を 中 心 に 回 転 さ せ な い 、隙 間 な く 拭 く 、向 き を 変 え な い、ク ロ ス を 浮 か さ な い、バ ッ ク し な い 、拭 い た 後 を 歩 く >	
⑨		クロス の 処 理 <コ ー ト 内 で 処 理 、 ク ロ ス を 浮 か さ な い よ う に ・ハ ン ド ル ・ク ロ ス を 外 す 、ゴ ミ の な い と こ ろ で ク ロ ス を 裏 返 す 、汚 れ た 面 を 内 側 に し て 置 む 、捨 て る >	
⑩		仕上 が り<正 し い 作 業 動 線 で 行 う 、自 在 ば う き と ち り と り を 正 し く 使 う (ハ ン ド ル の 調 節 ・ 脇 に 抱 え る ・ ゴ ミ を 取 り や す い 位 置 に 立 つ ・ 毛 先 の 半 分 を ち り と り に 入 れ る)、取 り 残 し が な い >	
		タイム	級

ウインドウスクイージー

検定日： 年 月 日 ()

特別支援学校・学園 (高等部・中学部)

年 氏名

No	検定の観点	評価
① ☆	資機材準備<スクイージー1本、システムバケット1セット、白タオル2枚、スクイージーの刃は上に向けバケットに入れて運ぶ、所定の場所に置いたらスクイージーを掛ける>	
② ☆	水拭き<正しくタオルを量む、正しい絞り方、タオルは緩めに絞る、正しい持ち方、ガラスの縁を1周拭いたら折返す、隅までタオルを入れる、マーカークの汚れを落とし切る>	
③	スクイージーを拭くタオルの準備<正しい絞り方(バットと同じ握り方・片膝を着く)、固く絞る、正しい量み方(八つ折り)・正しい持ち方>	
④	縦引き<ガラスにスクイージーを当てたら左側を少し下げる、膝を使う、拭き跡を重ねる、下は15cmほど残す、途中で止まらない>	
⑤	横引き<窓の下方の余分な水滴をタオルで拭き取る、スクイージーの上側を少し倒す、スクイージーの真下の窓枠をタオルで押さえる、端は15cmほど残す、途中で止まらない、浮かさない>	
⑥	扇引き<ガラスに体を近付け・片膝を着き・腰を落とす、支点の下をタオルで押さえる、途中で止まらない、浮かさない、手首は最後まで持ち上げない>	
⑦	スクイージーの刃を拭く<縦引きの前に一度拭く、一度使うたびに必ず拭く、刃の端から端まで・下から上に拭く>	
⑧	窓枠を拭く<タオルは横長の16折、山折り側がガラスに近い方、タオルをガラス面にはみ出させない、途中で面を変える、水拭きの後から拭きで同じことをする>	
⑨	面取り<から拭きタオルを二つ折まで広げる、人さし指を入れ・漢字の口の書き順で拭く、一辺を拭いたら乾いた場所を出す、ガラスに触らない>	
⑩	仕上がり<正しい作業動線で行う、ガラスや窓枠に水が残っていない、バーと床を隙間なく拭く、スクイージーを刃・グリップ・中の順に拭く、元の位置に片付ける>	

タイム	級
-----	---

ポリッシャー

検定日： 年 月 日 ()

特別支援学校・学園 (高等部・中学部)

年 氏名

No	☆	検定の観点	評価
①	☆	資機材準備<作業表示板は最初に出ず、バケツ・白タオル2枚・マイナスドライバー・赤パッド・パッド台・飛散防止カバー・ポリッシャー本体>	
②	☆	機能理解<右レバーを握るとパッド台が回る・安全装置を押しながら握る、左レバーを握ると洗剤が出る>	
③		セット①<パッド台に赤パッドを付ける、倒す、コンセントを差し込む、起動確認、パッド台を付ける、起こす、飛散防止カバーを付ける>	
④		セット②<コードを数回分とってコート内に移動、ハンドル倒す、開栓、タイヤを上げる、コードを整える、この間ハンドルを離さない>	
⑤		縦横移動<回転させたまま自分の前で20秒間止められる、ポリッシャー本体は自分の前のように維持、縦移動は真っすぐ下がる、隙間なく、直線的に洗浄、洗浄後を踏まない>	
⑥		部屋の隅<ポリッシャーを壁に強くぶつけない、隅にポリッシャーを固定したまま自分が右へ弧を描くように移動、洗浄後を踏まない>	
⑦		机の周囲<ポリッシャーを机の脚に当てない、コードを机に当てない、机の右→中→左→手前の順に洗浄、洗浄後を踏まない>	
⑧		コードの処理<踏まない・躓らない・またがない、ポリッシャーに巻き込まれない、後半は安全にコードを巻き取りながら作業する>	
⑨		片付け①<タイヤを下ろす、開栓、ハンドル立てる、マットの上に戻す、コンセントを抜く、倒す、飛散防止カバーを汚れた面を内側にして折り、パッドの上部に付け、パッドを下からめくってくるみ・白タオルを添えてバケツへ>	
⑩		片付け②<パッドを外す、パッド台と本体を拭き上げ、コードを拭きながらきれいに巻きとる、作業動線が正しい、床を隙間なく拭き上げる、元の位置に戻す、表示板は最後に片付ける>	

タイム

級

掃除機

検定日： 年 月 日 () 特別支援学校・学園 (高等部・中学部) 年 氏名

No	☆	検定の観点	評価
①		資機材準備・片付け<作業表示板は最初に出して最後に片付ける、本体・ホース・ウインド・ノズル・白タオル、終わったら元の位置に戻す>	
②		セット<ホース・ウインド・ノズルの組み立て、ノズルは上に向けて置く、プラグを持ってコンセントを差し込む、起動確認>	
③	☆	掃除機の移動<作業しやすい位置に持ち上げて移動する、ホースで引っ張らない>	
④	☆	構え<右手が上、左手は順手で下、左足が前、ホースを体の右側にして持つ(左利きは全て反対)、常にノズルを床にびったりと吸い付かせる>	
⑤		動線<前進作業、コートに自分が入る前に出入口を吸塵、吸い込んだ後を歩く、隙間なく吸い込む、ゴミを踏まない、ゴミ箱をどかす・元に戻す>	
⑥		部屋の隅・壁際<壁に対して直角に吸塵したところは壁際を壁に沿って吸塵する、壁にぶつけない、向き変えのときに隙間を作らない、壁から離れ過ぎない>	
⑦		机の周囲<机の脚等にノズルやコードをぶつけない、椅子を引く→机の手前→椅子を戻す→移動→裏側の順で掃除機をかける>	
⑧		コード・ホースさばき<踏まない・蹴らない・またがない>	
⑨		片付け<プラグを持ってコンセントを抜く、拭き上げ、ホース・ウインド・ノズルを分解してケースへ、コードを拭きながら巻く>	
⑩		仕上がり<正しい手順で作業を進める、点検をする、取り残しがない(拾ったゴミはポケットへ入れる)>	

タイム	級
-----	---

トイレ (洗面台)

検定日： 年 月 日 ()

特別支援学校・学園 (高等部・中学部)

年 氏名

NO	☆	検定の視点	評価
①	☆	資機材の準備<作業表示板は最初に出す、システムバケツ、青い手袋、白タオル2枚、ライトクリーニングたわし、マイクロクロス、中性洗剤>	
②	☆	衛生面の配慮<手袋をつけ・裾を2cmほど折り返す、鏡は拭いた後は手で触らない>	
③		鏡清掃①<マイクロクロスを・洗面台の上で・半分ほど濡らし・絞る>	
④		鏡清掃②<鏡の縁・真ん中の順に拭く、直線的に・隙間なく・拭き残さないように拭く(上部は手の届くところまで)>	
⑤		洗浄①<ライトクリーニングたわしを濡らして絞り・洗面台の上で・スプレーを近付けて・洗剤をかける>	
⑥		洗浄②<ライトクリーニングたわしの黄色いスポンジ面で・金属部分(蛇口・排水口・液体石鹸のボトル・排水管等)を洗浄>	
⑦		洗浄③<ライトクリーニングたわしの白パッド面で・シンクの内側・周辺・シンクの下部を洗浄、金属部分をこすらないように注意>	
⑧		洗面台の水拭き<シンクに水をため・トラップに水を流す、白タオルを絞り・金属部分・その他の部分を拭き上げ>	
⑨		仕上がり<水拭きの後に乾いたタオルで仕上げる、正しい手順で作業を進める、点検・水滴や鏡の曇りを残さない>	
⑩		片付け<システムバケツにきれいにしまふ、所定の場所に資機材を置く、作業表示板は最後に片付ける>	
		タイム	級

検定日： 年 月 日 ()

特別支援学校・学園

(高等部・中学部)

年 氏名

トイレ (小便器)

NO	☆	検定の視点	評価
①	☆	資機材の準備<作業表示板は最初に出す、システムバケツ、ピンクの手袋、ピンクタオル、青タオル、白タオル、シューズブラシ、バケツ、白バッド、トイレ用洗剤、マスク>	
②	☆	衛生面の配慮 <手袋を着用、マスクは鼻と口を覆う、膝を床に着かない、顔を便器につっこまない>	
③		セット<白タオルを絞る、ピンクタオルを絞る、センサーをピンクタオルで隠す、バケツに水を3分の1入れ、目皿を両手で持って入れる>	
④		洗浄① <便器の上で・白バッドに洗剤を掛ける、便器の上面を洗浄、外側の上から下へ洗浄>	
⑤		洗浄② <再度便器の上で白バッドに洗剤を掛ける・便器の内側を上から下へ・水の出るところをしっかりと・最後に排水口を洗浄>	
⑥		排水口・目皿 <シューズブラシで・排水口の中をしっかりと洗う、目皿は水の入ったバケツの中で・白バッドで裏表ともに洗い・元に戻す>	
⑦		便器の水拭き <ピンクタオルを外して水を流す、便器の上面を拭く、青タオルでセンサーを隠す・ピンクタオルで便器の外側を上から下へ拭く>	
⑧		便器のから拭き <センサーを白タオルで隠す、青タオルで・便器の上面・センサー付近を拭く・外側を上から下へ拭く・内側は拭かない>	
⑨		仕上がり <正しい手順で作業を進める、点検、白タオルで・床にこぼれた水を拭き取る、水洗の水が自分にかかっていない>	
⑩		片付け <システムバケツにきれいにしまう、所定の場所に資機材を置く、作業表示板は最後に片付ける>	

タイム

級

トイレ（洋式便器）

校 定 日： 年 月 日（ ）

特 別 支 援 学 校 ・ 学 園 （ 高 等 部 ・ 中 学 部 ）

年 氏 名

NO	☆	検定の視点	評価
①	☆	資機材の準備<作業表示板は最初に出す、システムバケツ、ピンクの手袋、ピンクタオル、青タオル、白タオル、白バッド、トイレ用洗剤、マスク>	
②		セット<まずトイレレットペーパーの端を三角に折る、手袋をつける、白タオルを絞る、ピンクタオルを絞る>	
③	☆	衛生面の配慮<手袋の裾を2cmほど折り返す、マスクは鼻と口を覆う、膝を床に着かない、顔を便器につっこまない>	
④		洗浄①<便器の上で・白バッドに洗剤を掛ける、便器のふたの裏・ふたと便座の境目・便座・便器の裏・便座の内側のふちを洗浄>	
⑤		洗浄②<便器の外側を上から下へ・便器の縁・緑の裏側・便器の内側・最後に排水口を洗う、ふたをして・水を流す>	
⑥		便器の水拭き①<ピンクタオルで・水洗レバー・便器のふたの上と裏・ふたと便座の境目・便座・便器の裏・便座の内側の縁を拭き上げ>	
⑦		便器の水拭き②<便器の外側を上から下へ・便器の縁・緑の裏側を拭く、便器の内側は拭かない>	
⑧		便器のから拭き<青タオルで・ペーパーホルダー・てすりを拭く、他は水拭きと同じ手順で拭く、内側は拭かない>	
⑨		仕上がり<正しい手順で作業を進める、点検、白タオルで・床にこぼれた水を拭き取る、水洗の水が自分にかかっていない>	
⑩		片付け<システムバケツにきれいにしまう、所定の場所に資機材を置く、作業表示板は最後に片付ける>	

タイム

級